

ビル・アンドリュース博士 (William Henry "Bill" Andrews, Ph.D.) 初来日特別記念講演

# IMMORTALIST VISIT

老化による疾病・治療の先駆者  
Aging is disease & Aging can be cured



2015年

1月23日(金)

会場：三菱ビル コンファレンス  
スクエア エムプラス 10階

13:40 受付開始

14:15 - 15:00 白澤 卓二教授

15:05 - 16:00 ビル・アンドリュース博士



## 特別ゲストスピーカー

順天堂大学 大学院医学研究科  
加齢制御医学講座

長寿遺伝子の第一人者

白澤 卓二 教授

## ビル・アンドリュース 博士 (Dr. Bill Andrews)

Sierra Science 社長兼最高経営責任者

ウィリアム・H・アンドリュース博士はバイオテクノロジー産業の分野に30年もの間身を置き、特にここ18年ほどはヒト細胞においてテロメア短縮へ介入することにより人間の寿命を延長する方法に焦点を当て研究を行っている。1981年にジョージア大学にて分子および集団遺伝学の分野で博士号を取得、その後はArmos社およびCodon社にて上級研究員、Codon社およびジェロン(Geron)社にて分子生物学部門ディレクター、そしてEOS Biosciencesでは技術開発部門のディレクターを歴任。又、ネバダ州リノ市のバイオテクノロジー企業Sierra Sciences社の創設者でもあり、現在はその社長および最高経営責任者を併任している。Sierra Sciences社はヒトの細胞の内因性テロメラーゼの発現を一過性に誘導する薬物の発見に取り組んでおり、既にそのような薬物を30種以上同定し、現在はそれらの作用機序の解明に取り組んでいる。ジェロン社での分子生物学部門ディレクター在任時、アンドリュース博士は他の共同研究者らと共にヒトテロメラーゼのRNAおよびタンパク質両方の構成成分の発見に重要な貢献をし、1997年には本研究に対して米国の「その年の著名な国内発明家・発案者(National Inventor of the Year)」として第2位を受賞。現在、博士はテロメラーゼに関する43もの米国発行の特許に発案者としてその名前を連ねている。

## 白澤 卓二 教授 (Dr. Takuji Shirasawa)

順天堂大学 大学院医学研究科 加齢制御医学講座

順天堂大学大学院加齢制御医学講座の白澤卓二教授は、抗加齢研究分野において日本を代表する研究者である。1990年に千葉大学大学院医学研究科にて医学博士の学位を取得後、老年病学分野で加齢分子生物学を20年以上に渡り研究している。現在は、日本抗加齢医学会の理事、日本基礎老化学会の理事、日本バイオフィリアリハビリテーション学会の理事長でもあり、神経科学研究国際誌Journal of Neuroscience Researchの編集委員も長年に渡り務めている。白澤教授の主な研究領域は加齢および老年病の分子生物学、アルツハイマー病の分子遺伝学とテロメア生物学にまで及ぶ。教授の研究は特に予防医学分野では先駆的な内容で、これまでに130冊以上に及ぶ予防医学に関する医学啓蒙書を出版している。日本で販売された白澤教授による一般向け医学啓蒙書は既に200万部以上を数え、多数の本が外国語に翻訳され海外でも多くの読者の支持を得ている。

会場 三菱ビル コンファレンススクエア エムプラス 10階

主催 defytime Japan 株式会社

お申込み お問い合わせ 当日参加も受け付けますが、出来る限り事前申し込みをお願い致します。お名前・ご所属・ご住所・電話番号をEメールでinfo@defytime.jpまでお送りください。



交通アクセスのご案内  
JRご利用の場合  
東京駅 丸の内南口より徒歩2分  
地下鉄ご利用の場合  
丸の内線 東京駅より徒歩3分  
千代田線 二重橋前駅4番出口より徒歩2分  
三田線 大手町駅D1出口より徒歩4分

お車でお越しの場合  
三菱ビル駐車場および丸の内周辺の各駐車場をご利用下さい。

defytime